

学校教育目標 豊かな人間性と主体的に学ぶ力を備えた 実践力のあるたくましい児童の育成

めざす児童像 目標に向かい 友達と共に やり抜く子

中期目標 3年後に実現したい学校像

目指す児童像を保護者地域と共有し、教師と地域人材が共に指導する学習が教育課程に位置付けられている。一人一人の子供たちが主体的に学習活動に取組み、友達と協力しあいながら、最後までやり抜くことを通し、課題解決を楽しむ子供が育つ学校。

短期目標 30年度末に実現すること

年間指導計画に、外部人材・学校図書館・ICT活用、教科関連が位置付けられ、学校行事・特別活動と関連して指導される、目指す児童像の実現に向け実践されること。

実現に向けた重点取組みをプロジェクトチームで取り組む。

- 1 授業改善
- 2 外部人材と連携した活動
- 3 経営重点の周知と広報

目指す教師像

学び続け、実践を楽しむ教師
 教えて任せる指導ができる教師
 学ぶ組織を創る教師

子どもたちに身に付けたい資質能力

Concept (見通す力)

自己決定力=自分の意思・自分の力で・自ら行動
 大人になる力=目標を持つ

Challenge (挑戦する力)

大人になる力=責任感・判断力
 感じる力=達成する喜び・成長を感じる

Communication (関わりあう力)

人間関係力=優しさ・協調性・人のために・人を認める

Control (自律する力)

考える力=考えて行動する
 継続する力=あきらめない・くじけない・努力・勤勉

3プロジェクトによる取組み

プロジェクト	学びづくりプロジェクト	心づくりプロジェクト	動きづくりプロジェクト
課題	学習指導法の改善	一人一人の発達に応じた支援	カリキュラムマネジメント
課題解決手段	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業改善 主体的対話的な授業の実現 ホワイトボード活用推進 授業形態の工夫 算数の単元づくりを通じた校内研究の推進 学ぶ目的が明確な単元づくり 学校図書館活用の推進 学習情報センターとしての機能充実 読書する楽しさを実感する取組み ICT活用の推進 キーボードリテラシーの向上 教科指導でICTを取り入れた表現力の向上 2 外部人材活用 3 周知と広報 HPの更新 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業改善 生徒指導の機能を生かした指導の充実 目標の一本化による生徒指導取組みの明確化 特別支援体制の充実 特別支援コーディネータの機能を活かし、一人一人の状況に合わせた支援と、子供たち同士によりよい関係づくり キャリア教育の推進 なりたい自分の姿を持ち、自らの可能性を發揮し、よりよい社会の創り手となる指導の単元開発と日常化 道徳教育の推進 特別の教科道徳の指導法と評価法の確立 2 外部人材活用 3 周知と広報 HPの更新 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業改善 主体的に取り組む特別活動 当番活動・学級活動・委員会活動等を通して自主自立(自律)を促す指導の工夫改善 教科と関連した学校行事の推進 学校行事と教科指導の関連を明確にすることで、行事の厳選を行い、教科が行事か位置づけを明確にする 児童の主体性を育む指導法の工夫改善 総合的な学習の時間の単元確立 総合的な学習の時間で育成する資質能力と指導過程の関連を見極めよりよい単元開発 学習したことを生かす外国語活動 学んだことを活かす学習活動との関連をカリキュラムマネジメントの視点で開発 2 外部人材活用 3 周知と広報 HPの更新
プロジェクト成果	実践しながら修正し、みんなでつくりみんなが実践する平成31年度年間指導計画の作成 実践しながら検証し、実効性のある、学校図書館・ICT・生徒指導・特別支援教育・道徳教育の全体計画の作成 外部人材活用計画の作成と学校支援コーディネータネットワークの構築		